

株主の皆様へ

第66期第2四半期のご報告

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



おしゃれのとなりに
株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第66期第2四半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成26年12月

代表取締役社長 **藤井 一郎**

第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税後は、駆け込み需要の反動や、増税や物価上昇に伴う節約志向も見られるなど、個人消費は低調な状況で推移しました。またアジア地域におきましては、引き続き中国を始めアジア新興国の経済の減速が懸念されるなど、依然先行きの不透明感は払拭されません。

当縫い糸業界におきましても、消費税増税前の衣料品の前倒し生産と縫い糸の駆け込み受注の反動、夏場以降の国内の天候不順、縫製業の東南アジア諸国への分散傾向など、国内外共に厳しい環境で推移しました。

このような状況の中、当社グループは引き続きアジア市場での販売拡大や国内事業における収益の回復などを目指して従前の諸課題に取り組みましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,352百万円（前年同期比2.5%減）にとどまりました。

一方利益面は、昨秋の国内向け工業用縫い糸の価格改定効果や前年同期に発生した為替差損の減少などの増益要因もあったものの、売上高の減少に加えて、海外人件費の増加、アジア事業における先行経費負担や原材料価格の高止まりもあって営業損失は15百万円（前年同期は16百万円の損失）、経常利益は10百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

また、四半期純利益につきましては、中国子会社の移転に伴う受取補償金242百万円を特別利益に計上したことなどから、124百万円（前年同期は44百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況

日本

当期間における個人消費は、消費税増税後の落ち込みの影響が長引いたほか、円安を背景とした物価上昇傾向もあって節約志向も強まり、低調な状況で推移しました。国内の縫い糸需要も、増税前の衣料品の前倒し生産や駆け込み受注の反動に加え、夏場の天候不順

の影響なども受けて、手作りホビーの分野も縫製分野も低調に推移しました。

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成26年4月から9月まで、国内子会社の平成26年2月から7月までの業績が連結されているため、当期間における上述の影響等は、国内子会社各社により相違があるものの、中期的な国内事業収益回復のための諸策は徐々にその成果も出始めております。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,600百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

一方利益面につきましては、原材料価格やエネルギーコストは、円安の影響もあって引き続き高止まりして製造原価を圧迫しておりますが、国内子会社各社の収益回復努力や、昨秋の工業用縫い糸の価格改定効果もあって、セグメント損失は前年同期比では縮小し40百万円（前年同期は66百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成26年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間のアジア地域の縫製につきましては、中国から東南アジア諸国への分散傾向が引き続き進行しており、中国における縫製業は、沿海部から内陸部への移動や淘汰が一層進み、これに伴って縫い糸の販売環境も厳しさを増しております。

これらの状況に伴い、当社グループにおいても、タイ及びベトナムの子会社では売上高の増加が続いているものの、中国における製造子会社の移転に伴う減産や、縫製業の分散化による中国での販売減少をカバーできず、当セグメントの売上高は752百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

また利益面につきましては、中国子会社の売上高の減少に加えて、原材料価格の高止まりや引き続き海外人件費の上昇傾向、アジア事業における先行経費負担もあって、セグメント利益は29百万円（前年同期比35.5%減）にとどまりました。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当第2四半期	増減
資産の部			
流動資産	7,431	7,180	△250
固定資産	3,695	3,865	170
有形固定資産	2,013	2,192	179
無形固定資産	222	219	△2
投資その他の資産	1,459	1,453	△6
資産合計	11,126	11,046	△79
負債の部			
流動負債	1,130	943	△186
固定負債	1,182	1,090	△92
負債合計	2,313	2,034	△278
純資産の部			
株主資本	7,644	7,838	193
その他の包括利益累計額	513	469	△44
少数株主持分	654	704	49
純資産合計	8,813	9,012	199
負債・純資産合計	11,126	11,046	△79

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期	増減
売上高	3,439	3,352	△86
売上原価	2,513	2,401	△112
売上総利益	925	951	25
販売費及び一般管理費	942	966	24
営業損失	△16	△15	1
営業外収益	31	37	5
営業外費用	32	11	△21
経常利益 (△は損失)	△17	10	28
特別利益	0	260	260
特別損失	0	0	0
税金等調整前四半期純利益 (△は損失)	△17	270	288
法人税・住民税及び事業税	17	18	1
過年度法人税等戻入額	—	△39	△39
法人税等調整額	△5	87	93
少数株主損益調整前四半期純利益 (△は損失)	△28	203	232
少数株主利益	15	79	63
四半期純利益 (△は損失)	△44	124	169

● 貸借対照表のポイント

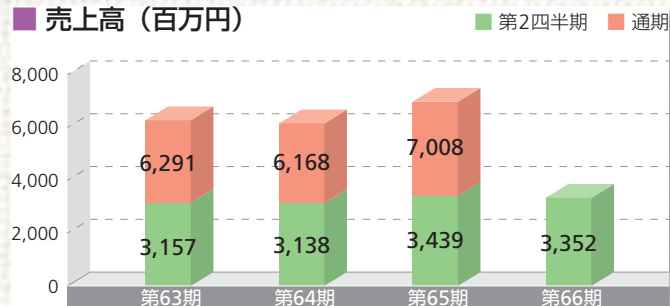
- ・流動資産の主な減少要因は、固定資産の取得による現金預金の減少によるものです。
- ・有形固定資産の主な増加要因は、中国子会社の資産が増加したことによるものです。
- ・流動負債の主な減少要因は、買掛金が減少したことによるものです。

● 損益計算書のポイント

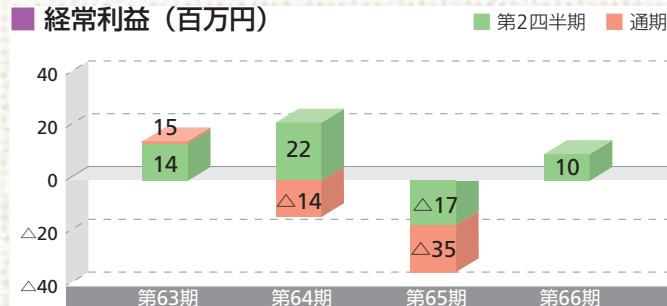
引き続き海外人件費の増加やアジア事業における先行経費負担、原材料価格の高止まりはあるものの、工業用縫い糸の価格改定効果や前年同期に発生した為替差損の減少などもあって、減収ながらも利益面はやや改善しています。また、中国子会社の受取補償金を特別利益に計上したことなどにより四半期純利益は大幅増益となりました。

注 国内連結子会社は平成26年2月から7月(1月決算)、海外連結子会社は平成26年1月から6月(12月決算)までの業績が連結されております。

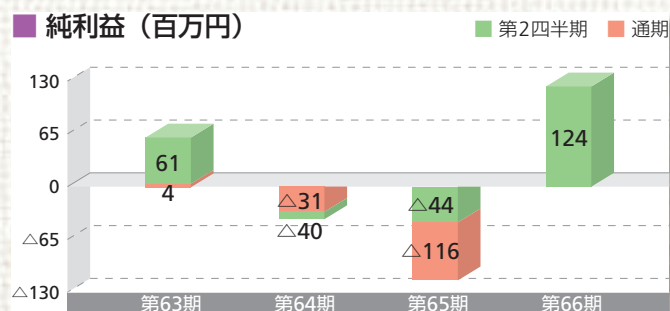
■ 売上高 (百万円)



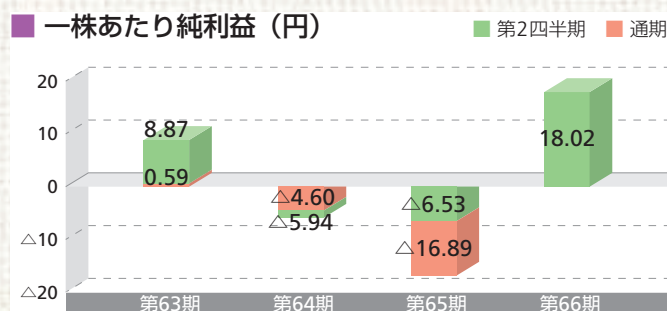
■ 経常利益 (百万円)



■ 純利益 (百万円)



■ 一株あたり純利益 (円)



▶ 太陽光発電開始

2014年7月、当社滋賀事業所の物流センター建屋及び染色工場建屋において、太陽光発電の運転を開始いたしました。これにより、一般家庭約70軒に相当する発電を行うことができます。当社ではこれからも、環境に配慮した事業活動を行って参ります。



▶ フジックスインターナショナル（タイ）で生産開始

2014年7月、タイ国バンコクにあります当社連結子会社「フジックスインターナショナル」が、縫い糸の販売・物流に加え、このたび製造を開始いたしました。主にアパレル縫製用のミシン糸を製造し、同国内をはじめASEAN諸国の縫製業者様へのクイックデリバリーにより、利便性を高めて参ります。



▶ ソーイングワンダーランド開催

2014年9月、当社東京支店多目的スペースにおいて、手芸用品のクローバー様、クリエイターの集まりminamiwa様との合同による手づくりワークショップ企画「ソーイングワンダーランド」を開催しました。初心者の方も大勢参加していただき手づくりの楽しさを感じていただくことができました。

▶ シャップスパン発売40周年キャンペーン

2014年5月から開催していましたが「シャップスパン発売40周年記念 フォトストーリーコンテスト」は好評のうちに10月10日に終了しました。多くの方から手づくりに関する写真とエピソードをお送りいただき、審査の結果、フランス・パリで開催される「針の祭典」ツアーへのご招待などを賞品として贈呈いたしました。



会社の概要 (平成26年9月30日現在)

事業内容

家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創業	大正10年(1921年)3月
設立	昭和25年(1950年)1月
資本金	923,325,000円
従業員数	142名*パート23名を含む(連結 443名)
事業所	

本社	管理部 営業本部 研究開発室	京都市北区
東京支店	営業部	東京都台東区
滋賀事業所	生産部 物流部門	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

役員 (平成26年9月30日現在)

代表取締役	藤井 一郎	取締役社長兼生産本部長
常務取締役	松岡 繁生	営業本部長 アジア総代表
取締役	山本 和良	管理部長
取締役	森川 昌治	営業本部長代行 国内営業統括
常勤監査役	新江 正幸	
社外監査役	中村 利雄	弁護士
社外監査役	中野 雄介	公認会計士

グループ会社

国内グループ会社

株式会社FTC	京都市北区
株式会社シオン	秋田県横手市
株式会社ニットマテリアル	山梨県甲府市

海外グループ会社

上海富士克制線有限公司	中国・上海市
上海新富士克制線有限公司	中国・上海市
上海富士克貿易有限公司	中国・上海市
富士克國際(香港)有限公司	中国・香港
上海福拓線貿易有限公司	中国・上海市
FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.	タイ・バンコク
FUJIX VIETNAM Co.,Ltd.	ベトナム・ホーチミン

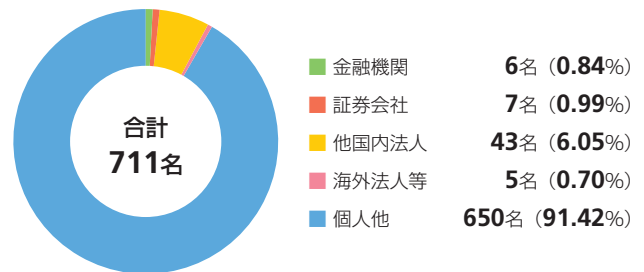
株式の状況 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,945,000株
発行済株式の総数	7,340,465株
株主数	711名
大株主	

	保有株式数(千株)	比率(%)
(株)FJ興産	793	11.51
藤井多鶴子	717	10.41
小原京子	396	5.75
森本町子	328	4.76
鈴木直子	328	4.76
藤井眞津子	284	4.12
藤井一郎	220	3.19
藤井太郎	200	2.90
(株)三井住友銀行	184	2.68
フジックス社員持株会	172	2.50

自己株式451千株は控除しております。

株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会・期末配当金：3月31日 中間配当を行うとき：9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031
公告方法	電子公告としております。(http://www.fjx.co.jp)

株主様の住所変更等お届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。